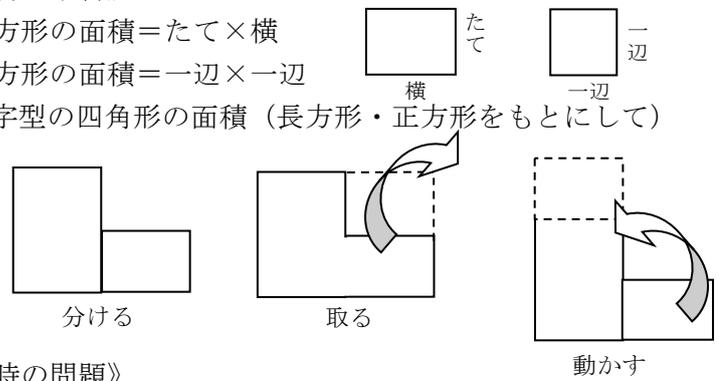
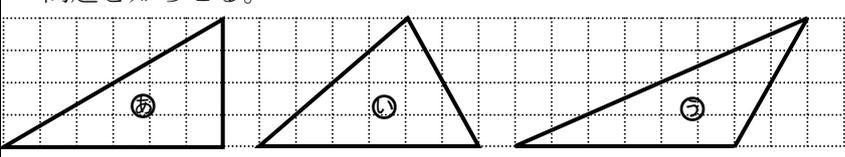
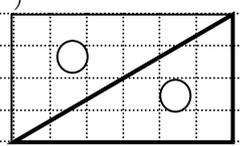
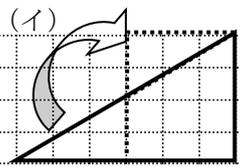


目 標	直角三角形の場合で、三角形の面積を求める公式を考えて、説明することができる。	
学 習 活 動	指 導 上 の 支 援 と 工 夫	準 備 物
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 既習の学習が想起できるようにする。</p> <p>《既習の学習》 長方形の面積＝たて×横 正方形の面積＝一辺×一辺 L字型の四角形の面積（長方形・正方形をもとにして）</p>  <p>《本時の問題》</p> <p>○ 下図の三角形を示し、4年生の学習を振り返って次のように問題を知らせる。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㉠の直角三角形の面積を求めよう</p> </div> <p>○ 既習の学習と本時の問題との違いを話し合うことで、本時の三角形の面積も公式を作る必要があることに気づき、本時のめあてがつかめるようにする。</p>	<p>既習事項の 掲示物</p> <p>本時の学習 の掲示物</p>
<p>めあて ㉠のような直角三角形の場合で、三角形の面積を求める公式を考えて、説明しよう。</p>		
<p>2 問題を解き、近くの友達と話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しをもつ。 ・自力解決 	<p>○ 長方形や正方形をもとにして、直角三角形でも図形を「分ける」「引く」「動かす」ことで、公式が考えられないか問いかけることで、解決の見通しがもてるようにする。</p> <p><予想される児童の考え></p> <p>(ア)</p>  <p style="text-align: center;">取る</p> $4 \times 6 \div 2 = 12$ <p style="text-align: center;"><u>A. 12 cm²</u></p> <p>(イ)</p>  <p style="text-align: center;">動かす</p> $4 \times 3 = 12$ <p style="text-align: center;"><u>A. 12 cm²</u></p> <p>○ 机間指導を行いながら、図や式で自分の考えを表現できている児童を称揚する。</p> <p>○ 自力解決が難しい児童には、長方形を意識して面積を求めることができるよう、補助線入りのヒントカードを渡し、自力解決できるようにする。</p>	<p>図形（個人用）</p> <p>発表用紙 （図形入り） マジック</p>

